

活動名：福島民報杯スポ少サッカー岩根大会 U12・U10・U8

日程：令和4年9月3日（土）・4日（日）

会場：本宮総合グラウンド

参加：T6・L100 10名

E3・E4 11名

J1・J2 13名

帯同：T6・L100 熊坂コーチ

E3・E4 設楽コーチ

J1・J2 大森コーチ

サポート：貝和コーチ

結果：U12の部

VS さくら 0：1 ●

VS 柴宮 0：0 △

VS 安積第三 1：0 ○

VS 岩根A 1：2 ●

7位決定戦

VS 船引 3：1 ○ （7位/10チーム中）

U10の部

VS 大玉SSS 2：0 ○

VS 安積第三 5：0 ○

VS グラート 0：0 △

VS 岩根SSS 0：0 △

3位決定戦

VS 柴宮SSS 0：0 △ PK ○ （3位/10チーム中）

U8の部フレンドリー

VS 岩根SSS

VS 大玉SSS

VS 柴宮SSS

U12 報告（熊坂）

テーマ

自分のシュートレンジでは積極的にゴールを狙うこと。

1対1の場面で勇気を持って仕掛けること。

運動量で相手に負けないように走り切ること。

自分のマークする相手を責任を持って対応すること。

良かったところ

サイドでの1対1で積極的に仕掛けて何度もチャンスを作ることが出来ました。

また、ショートパスを繋いで崩す場面も見られました。

全ての試合で決定的な場面がありましたが・・・。

浮球の処理がかなり向上しました。

ボールを怖がらずに前に出て処理することで頭を越される場面はかなり減りました。

また、CKからダイレクトで得点を決めてくれました。

とても綺麗なゴールで素晴らしかったです。

全体的に守備は粘り強く対応出来ていました。

マークのズレも以前に比べれば減ってきましたので一人一人が責任を持って対応してくれたおかげです。

今までの大会もそうですがGKをやってくれた選手達は本当によく頑張ってくれています。失点が少なくすんでいるのはGKをやってくれている選手たちの貢献が非常に大きいです。嫌な顔一つせずGKをやってくれてありがとう！

最終戦・船引さんとの試合は気持ちの込もった素晴らしいプレーで最高の試合を見せてくれました。1点先制されながらも逆転で勝利しました。

選手達のゴールを奪うんだ、絶対に勝つんだという想いを強く感じる事が出来ました。

課題

全体的に積極的なシュートが足りませんでした。

打てる場面だと思っているところでも打たなかったことが多々ありました。

逆に焦ってしまってシュートレンジ外で打ってしまうところもありました。

「積極的なシュート」

自分のシュートレンジに入った時にシュートコースがあれば狙うということです。

一人一人シュートレンジが違いますし、DFが集まっているところではシュートコースがありません。冷静な状況判断も必要になりますので、ボールをもらう前の準備やボールを持った時に余裕を持てるだけの技術が必要になります。

沢山シュート打って感覚をつかむ、ボールを持った時に奪われない技術を身に付けていけるように努力しましょう。

スコアレスや負けている状況の中で得点を取りにいこうという姿勢が見られなかったことが残念でした。多少のリスクを負ってでも相手コートの高い位置からボールを奪いにいく守備、強引でもシュートで終わる攻撃を見せて欲しかったと思います。技術的な部分ではなく気持ちの部分なので、今後の大会では今大会の最終戦のように貪欲に勝利を目指す戦い、見ている人に感動してもらえるプレーをして欲しいと思います。

今大会は10分ハーフの試合でした。

試合では先制点がとても大事です。短い試合時間での先制点は特に重みがあります。試合開始と同時に全力で先制点を奪いにいき自分達のペースに引き込む。

そんなことも一つの経験として大切にしてください。

出来事

負けている試合の中で疲れが見えて交代した選手がいました。

その選手はボールが線を割って自分のベンチ側に転がってくると走って取りに行きました。疲れていても、交代した後でも自分がチームの為にやれることをやろうと

考えてくれていて素晴らしいと思いました。その選手は6年生のトモヒト君です。チーム全員がトモヒト君と同じ考えを持って、自分が今チームの為に出来ることを一生懸命やってくれたら嬉しいなと感じました。

2日目の最終戦前に時間が空いたので6年生にJクラスのアップのお手伝いをしてもらいました。普段はあまり触れ合う機会がないのでみんなが笑顔でボールを蹴っていたので良かったです。6年生もJクラスの選手達から刺激をもらい貴重な時間となりました。



U10 報告（設楽）

テーマ

- 自分がやりたいポジションに挑む
- 試合での戦い方を学ぶ
 - 自陣ではタッチラインへボールを運ぶこと
 - 相手自陣ではゴールに向かうこと
 - GK ポジションのルールを覚えること
 - 自分のポジションの役割を理解すること

良かったところ

親交のある岩根 SSS さんからのご招待で、一年生から六年生の3カテゴリーに分かれて試合を行う規模の大会に出場できたことは、年代別に成長を感じられる機会でした。また、他チームのオフザピッチの様子も見られ勉強になりました。コロナ禍ではありましたが、例年通りにこの大会に参加でき、お休みも少なく試合ができましたが、一部の選手がこの時期の環境で不参加になってしまったことは残念でした。

天候は暑くも無く、プレーしやすかったと思います。

すべての試合が無失点であったこと・・・しかし得点も少なかったことは残念でした。キーパーを自らやりたいと言ってくれた「しょうま君」が居たので、GK ポジションを気持ちよく任せることが出来て良かったです。（キーパーをやりたがらない選手が多いのが通常）

課題&出来事

今大会は L100 の4年生2名も加わり、アーレ三、四年生チームで参加できました。ポジションは選手個々の希望を聞き、全般的にそのポジションをこなしてもらうような戦いをしましたが、中盤（MF）を希望する選手が多かったので、良くも悪くも、得点力の無さや失点が無かった結果になったような気がします。

みんな試合に出たい、出たいという気持ちが強く、勝った負けたを気にせずに楽しくて仕方がないような後先を考えずがむしゃらプレーをしている選手が多く、自分自信で今何が（技術）足りないのかを気づいてくれたのか？が少し心配になる様子でした。しかし足りない技術は明確で、特に、シュート力と精度、相手へのマークの仕方が今後の練習の課題と感じました。

結果は3位でしたが、ゴールを決める可能性にある前段の攻めは随所に見られました。そのような場面で得点できていたら、優勝することは夢では無かった大会でした。





U8 報告（大森）

テーマ

試合の経験をいっぱいしてもう事
大会のルールを覚えてもらう事

良かったところ

相手ゴールにドリブルで果敢に攻め込むことができていました。
団体行動ができていました。

課題

基本技術(止める, 蹴る, 運ぶ)全てにおいてまだまだなので6年生になるまでしっかり練習して行き技術と共に人としても成長して行きましょう。

出来事

初日は3チームで対戦しました。大会本部のルールで試合を行いました。
アーレは13名での出場なので前半、後半チームに分けて試合をしました。
チーム分けは選手達に決めてもらい行いましたが人数が多い為、試合に出場する時間が多くなかったのであまり経験が出来なかったです。
2日目は経験を多くさせたいと思い大会本部に2チーム出場していいか話した所、
いいとの事で2チーム出場する事となり5チームで対戦しました。選手みんなに
試合経験が多くできるようになりました。
最後にアーレ同士の対決は白熱した戦いでしたね。仲間同士、切磋琢磨して成長して
欲しいと思います。



保護者対抗 PK 合戦（設楽）

この大会では各チームの保護者対抗で PK 合戦が恒例となっており、今回も 6 年生の保護者を主体に男女 4 名ずつ参加していただきました。初戦を勝ち抜き準決勝では同点でじゃんけん負けとなり、負けた相手は優勝で残念な結果でしたが、子どもたちがやっている緊張感のある会場を感じていただけたと思います。大人になると、なかなかこのような機会は無いので貴重な体験をしていただけたと思います。ご協力をありがとうございました。



最後に・・・

岩根 SSS さん、前日の会場づくりやコロナ禍での安全対策を行っていただいた円滑な運営に対して深く感謝を申し上げます。来年もご招待をいただけたら幸いです。

保護者の方々には、コロナ禍での子どもたちの健康管理を行い参加させていただき、朝早くからの送迎と応援を二日間ありがとうございました。

子どもたちの未来への成長は、子どもの頃に様々な経験をさせることだと思います。今大会もプレーした経験、勝ち負けの経験、友達との交流などによる協調性を養う経験、広いグラウンドを走り回る屋外活動の経験などこの二日間で様々なことができたと思います。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。